

I. 赤ブドウ葉製剤を使用した国内ヒト臨床試験

赤ブドウ葉が下肢むくみを軽減
国内ヒト試験で有効性確認
アスク薬品

アスク薬品(千葉県市川市、047-399-7508)は、「赤ブドウ葉乾燥エキス含有製剤の経口摂取による下肢のむくみ軽減効果」を学術誌「応用薬理」で発表し

その結果、「赤ブドウ葉乾燥エキス製剤」および「その原料である赤ブドウ葉乾燥エキスが下肢のむくみを軽減する効果」を示している。

(ヘルスビジネスライフ 2012.10.03 ニュース面より)

試験は、足のむくみを自覚している20歳以上70歳未満の女性17人を対象に実施。1日600mgの「赤ブドウ葉乾燥エキス製剤」とプラセボによる単盲検法クロスオーバー試験で、それぞれ摂取前と摂取開始6週間後の下肢体積を水槽排水法で測定、むくみ量は午後2時と午後6時からの下肢体積増量を測定し、その差を算出することで測定した。



赤ブドウ葉は、ヨーロッパで古くから食されてきたポリフェノールな食材であり、足のむくみ・だるさ・静脈瘤の医薬品としても使用されている。

臨床試験で使用した赤ブドウ葉製剤を、先着50名様にプレゼント!



● 応用薬理 2012年8月 誌上掲載 ○ 日本予防医学会 2012年11月ポスター発表

Ⅱ. 「あなた免疫力年齢は何歳ですか？」

「楽しく元気に長生きするための」ガイドブック

東京医科歯科大学名誉教授 廣川勝彦先生監修。

免疫のしくみや免疫力年齢をわかりやすく解説しています。

ガイドブックをご希望の方はメール、FAXにてご連絡ください。

info@askic.co.jp

FAX 047-395-1831



「省エネ・原発ゼロ・季節を楽しむ」対策を推進します。

地球の力が人間の力に

- サマータイム、かりゆしウェア・アロハシャツ、サンダル、団扇で消費電力を削減!

電気使用量 (対前年比%)



たくさんのお声をいただきました!

「当社もクールビズを2年前からやっています。あせもが解消しました。」(M社H様)

「うちが逆で、男女とも外出時にはジャケットをはおり、男性はネクタイ着用と以前より厳しくなりました。」(H社H様)

「当社も最近はエアコンを使用しません。使用しない身体がそれに慣れてきます。」(E社H様)

「当社でも導入したい。」(M社K様)

「早い。私どもはできません。」(U社S様)

「当社スタッフにはサマータイム制ではないのに6~7時代に会社に来ている者もいます。帰りは7時です。」(S社U様)

「早いですね。」(M社S様)

「7:30 すごい早いですね。」(K社N様)

「本当にやっているのですか?」(D社N様)

「早くですね。お客様と時間帯を合わせなければならぬので、当社では無理でしょう。」(M社I様)

「7時半って早すぎませんか?」(S社Y様)

「早すぎで、無理です。」(W社M様)

「サンダルはバタバタ音がすることから許可されていません。確かに朝の時間は有効であり、頭もさえるはずですね。」(N社T様)

「早いですね。お客様からの電話があると帰れないのは...」(D社M様)

「事務系だとできるかもしれませんが、営業はきついでしょ。」(R社M様)

「とっても早いですね。結局、残業になりそうですね。」(R社N様)

「服装に自由度があるのは良いですね。ただ、早く帰れないのでは?」(K社N様)

「これって本当ですか?」(H社S様)

「進んでいますね。以前アメリカに住んでいた時、6~9月がサマータイムだったので、仕事の後にゴルフをやりました。」(M社U様)

「早いですね。」(R社K様)

「ご苦労様でございます。頑張ってください。」(N社N様)

1914年夏 二行広告

◆ 伝説の求人広告(ア-スト ヌヤルト)
 求む男子。
 至難の旅。
 僅かな報酬。
 極寒。
 暗黒の長い日々。
 絶えざる危険。
 生還の保証無し。
 ただし成功の暁には名誉と賞賛を得る。
 応募者総数 ... 5000名
 採用者数 ... 27名

2012年夏 画像広告

◆ アスクの求人広告
 求む男女。
 ラッシュを避けて早朝出勤。
 早起きは三文の得。
 夏を楽しむ。
 かりゆし、アロハで明るい職場。
 省エネで環境・社会に貢献。
 早い帰宅でプライベート充実。
 さらに成功の暁には実りの秋。
 応募者総数 ... ***名
 採用者数 ... 2名